

中長期財政計画の策定・公表について

鎌倉前進

加藤 千華



質問…今後、鎌倉では、深沢のまちづくり、新庁舎整備、公共施設再編、下水道のインフラ更新など大規模事業が控えております。また、昨今は金利上昇局面であり、利払い負担の増加も顕在化しております。財源不足に陥らないか心配する声もある中で、数字を根拠にした建設的な説明・議論が市民・議会とできるよう、金利や物価上昇のリスクシナリオも含めた十数年を見据えた中長期財政計画を早急に策定・公表すべきと考えますが、いかがでしょうか？

総務部長…大規模事業においては特に計画の可視化、進捗・成果の共有が市民の理解・納得感につながる。他市の事例も参考にしながら、今後の財政見通しを含め、わかりやすい情報発信に取り組みます。

その他の質問: これからの夏は危険な暑さが続く。タクシーの長蛇の列に並ぶ高齢の方への暑さ対策を講じるべき



路面下空洞調査について

自民党

志田 一宏



質問…現在、実施している調査対象に子供たちが安心して移動できるよう幼稚園バスが走行する市道や通学路など調査対象を拡充してほしい。

都市整備部長…令和8年度から、これまでの路線に加え陥没が発生した場合に交通への影響が大きい主要幹線道路や、地盤条件等から陥没リスクが高いと考えられる河川沿いの道路などへ拡充する予定である。これらの路線の中で、幼稚園バスの走行ルートや通学路などがあれば、子供たちの安全確保の観点において、優先的に対象としていく。

その他の質問: これからの行政サービスについて



泣塔等鎌倉の信仰空間と町。／災害時と有事。道路状態

無所属

松中 健治



質問…泣塔周辺の伐採に私は思う。鎌倉は社寺、^{ほうきよういんとう}宝篋印塔、塚、墓塔、やぐらが多い。結界に囲まれた聖なる霊性を感じさせる聖域の町。人々が親しんでいる鎮守、怨霊鎮魂、五穀豊穰等を祈る場が散在している。これらの精神文化を重んじて世界遺産登録に再挑戦を。

市長…泣塔の遺構を崩落から守るための措置など慎重に整備を進める。世界遺産登録に向けては継続して取り組んでいく。

質問…明治期から変化がない道路網は災害対策などの都市機能として脆弱。第一中学校法面整備、釈迦堂口の再開の進捗を伺う。

都市整備部長…第一中学校通学路の法面整備工事、釈迦堂口に至る道路工事は、令和8年度中に完了予定である。

その他の質問: 瀬戸橋仮設柵撤去、134号線陥没修理、深沢地域整備事業のシンボル道路の進捗、源氏山のぬかるみ対策について



深沢地域整備事業について

鎌倉前進

岡崎 修也



質問…整備手法が見直される新庁舎整備事業について。施設の整備・運営には、公設公営の他にも、指定管理、PFI、DBOなど複数の手法があるが、整備手法や民間活力についてどう発信していくか。

都市調整部長…今後設置を予定している新庁舎整備検討委員会における議論の過程を基本的に公開で行っていく。

質問…深沢の事業用地の一部をまちづくりに向けた交流拠点として暫定利用していく考えがあるか。

都市政策部長…基盤整備の工事展開を考慮しつつ、令和8年秋頃を目途としている事業スケジュールの確定後に検討していく。

その他の質問: 市内における熱中症対策について、スポーツ政策について



業務のデジタル化(DX化)について

無所属

細川 まなか



質問…手続きのオンライン化の実施状況は。

政策部長…国指定の子育て・介護関連26手続き、及び年間申請100件以上のオンライン化可能な市民向け113手続きのうち102が完了。

質問…既にオンライン化している申請についてオンライン化率は。

各部長…各課で管理をしており1%未満～100%。

質問…デジタル戦略課が指揮を執り、利用率の調査や課題分析をしながら、全庁的にDX化を進めていく必要があると考えるが如何か。

政策部長…全庁的に見直しや改善を進められる体制を整えていく。

質問…市長のデジタル化に対する考えと、今後の方針は。

市長…働き手不足解消と業務効率化にDXの推進は不可欠である。

その他の質問: 認可保育園の利用状況について(待機児童等)、介護認定にかかる日数について、街区公園への犬の立ち入りについて



災害時対応型公衆トイレの導入に関して

公明党

児玉 文彦



質問…災害時にも安心して利用できる循環型公衆トイレを設置することは、市民だけでなく鎌倉に来られる国内外の観光客の命と健康を守る大切な課題であり、国内を代表する観光都市としての責務と考える。特に女性にとっては切実な問題。市民に寄り添い、必要な備えを形にする地道な取り組みこそ行政の役目と考える。松尾市長の考えを伺う。

市長…多くの観光客が来られる鎌倉では災害時に利用できる公衆トイレ環境がまだ十分に整っていないと認識している。観光客受け入れ体制の向上に資することから、今後研究を進め、必要な備えをひとつひとつ着実に形にできるよう努力していく。



関心高まる包括的性教育について

立憲

中村 てつや



質問…性被害者・性加害者にならないために、自分や他者を大切にする観点から包括的性教育は大変重要であるが、いかがでしょうか？

学びみらい部長…包括的性教育は生物学的な側面に留まらず、個人がより健全で幸せな生活を送るのに重要であると考えています。

質問…養護教諭等の専門性の高い職種との連携は必要と思いますか。

同部長…専門性のある方々との連携は大変重要と考えています。さらなる連携に向けて検討していきます。

質問…包括的性教育について教育長の考えを伺います。

教育長…子ども達が自分自身で心や体を大切にすることを学ぶためにも、包括的性教育の観点は重要であると考えます。

その他の質問: 外出困難者の支援について、教育と福祉の連携について



大船駅周辺の騒音や客引き等の改善について

公正と法

重黒木 優平



質問…昨年及び本年、パチンコ店の新規出店があり、既存店舗を含む店舗間競争の激化に伴う騒音や客引き、飲食店等の客引きにより治安が悪化している。警察との情報共有及び連携を強化すべきである。

市民防災部長…4月開催の防犯連絡会において、道路上での客引き行為に対する注意等を要望したところであり、今後も引き続き対応を要望していく。

質問…夜は歩くのを避ける、諦めて引っ越しをした等の意見が寄せられている。今後、改善に向けてどのように取り組むのか伺う。

市長…大船の皆さんとの意見交換を継続しながら、安全安心な街を目指し、取り組みを進めていく。

その他の質問: 歳入確保について、スポーツ施設の公平な利用について、コロナワクチンの予診票の保管期間延長について、など。

